

満額出しても**突出感**なし

トヨタが月額3.33%の賃上げ回答へ (月額平均 11,700円+ボーナス満額回答)

トヨタ自動車は3月13日、2018年春闘のベースアップを前年実績の「月額1,300円超」とする方針を明らかにしました。ベースアップの実施は5年連続となり、全組合員の平均賃上げ額は月額11,700円、平均賃上げ率は3.33%。あわせてボーナスは労働組合の要求満額となる「6.6ヶ月分(約243万円)を支給する」とし、3月14日に回答、妥結すると報じています。

世の中は賃上げ動向 各企業とも好業績を社員に還元



【日産自動車】

「無資格検査問題」の影響が懸念された日産自動車は、社員の士気を高めるため、前年のベースアップ1,500円を上回る水準を回答するとしている。

【ホンダ】

ベースアップは、前年より100円増額の1,700円を回答するとしている。トヨタ、日産自動車、ホンダの3社とも、ボーナスは労働組合の要求を満額支給する。

【全日本空輸】

月額1,500円のベースアップを実施すると労働組合に回答。ベースアップは4年連続となり、定期昇給を含めた賃上げ率は約3.2%と、安倍政権が経済界に要請した3%を上回る。



これまでの団体交渉においてJR東日本の経営側は、賃金議論の基本スタンスのなかで「世の中の動向を踏まえ突出感を与えてはならない」と述べています。しかし、世の中の動向は企業の好業績を賃上げで社員に還元する動きとなっており、要求満額を支給しても決して「突出感」は与えません！

賃上げを実現するために、東日本ユニオンに結集しよう！